



03

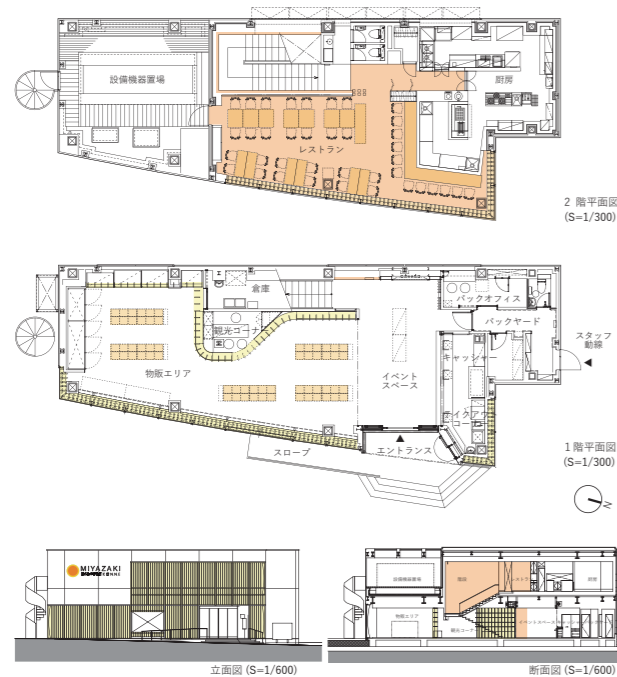
女性活躍賞・奨励賞 新宿みやざき館 KONNE

「おびすぎ 飴肥杉の魅力」を生かした宮崎県のアンテナショップ

受賞者
女性活躍賞
 大成建設株式会社一級建築士事務所 藪 由香
奨励賞
 設計者・施工者 大成建設株式会社一級建築士事務所

新宿に建つ宮崎県のアンテナショップを、オープン 20 周年の節目に改修。

全国トップの日照時間と日本一の杉生産量を誇る宮崎県のコンセプト“日本のひなた”をテーマに、R 形状の県産杉ルーバーで日射と視線をコントロールして、直接光による商品の劣化防止や内外の視認性に变化をもたらした。木漏れ日のような照明や県の名所を連想させる素材により、宮崎らしさを表現している。

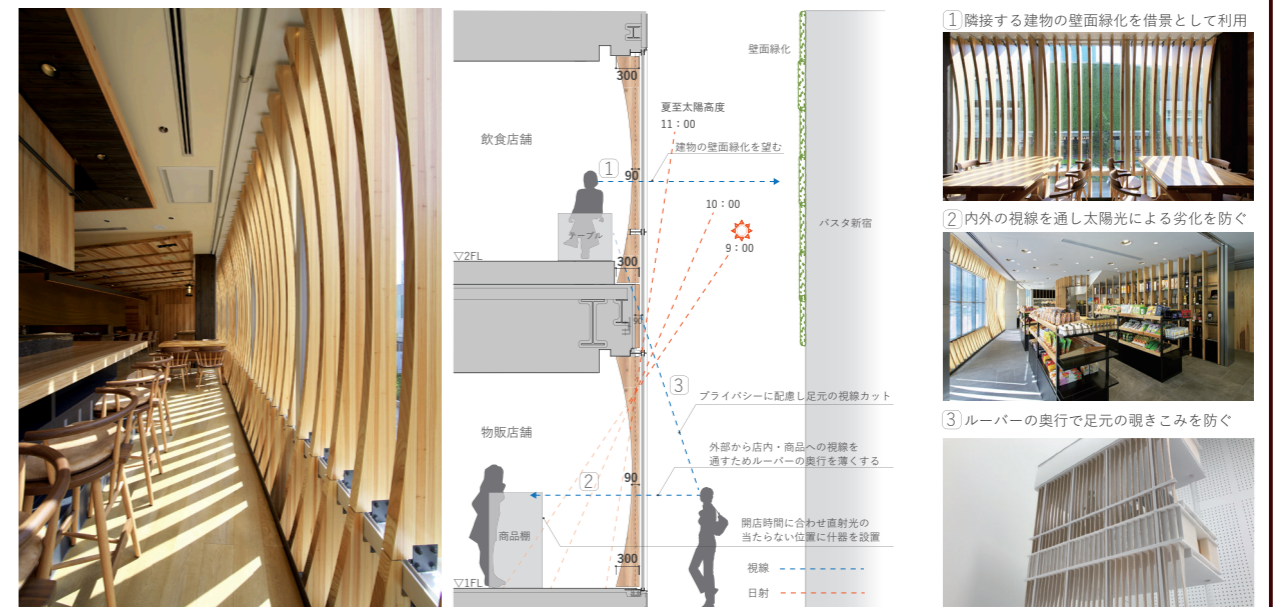


data		杉材使用箇所	
所在地	東京都渋谷区代々木 2-2-1	建築面積	170.25㎡
主要用途	物販店舗・飲食店舗	延床面積	289.88㎡
構造規模	鉄骨造・地上 2 階	店舗面積	物販：167.79㎡ 飲食：122.09㎡
敷地面積	24,920.8㎡ (新宿サザンテラス全体)	最高高さ	8.7m



「木材」の可能性を追求する

店内に林立する杉は“飴肥杉（おびすぎ）”と呼ばれる県産杉を地元の材木工場で加工したもの。本計画では、反りや曲げによる割れを考慮して集成材を採用し、内装材に活用することで外気や雨による汚れを回避している。杉ルーバーの形状は、アイレベルに合わせた「視認性の検証」と太陽の角度と方位による時間ごとの「日射の検証」から、ロールスクリーンを使わずに視線と日射をコントロールした。外部から商品が見えること、直射光を遮ることを考慮してルーバーの厚みを 45mm、ピッチを 194mm とし、端部で強度を保ち、アイレベルはルーバーの奥行きを 90mm とし、2 階では隣接する建物の壁面緑化を借景に望めるようにした。また、足元は覗き込みを防止するためにルーバーの奥行きを 300mm としている。同様に、1 階天井辺りのルーバーも 300mm とすることで、開店時に直射光が商品に当たらないように制御した。このように「見せること」・「見せないこと」・「遮ること」をルーバーの形状で解決し、機能的なファサードを実現している。



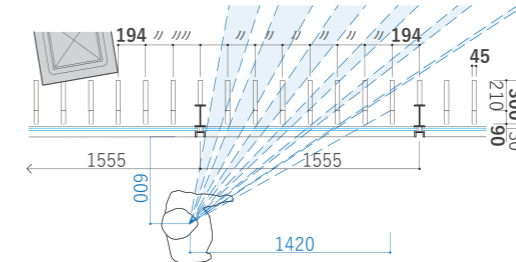
視線・日射シミュレーション

検証では模型を使い、夏至の太陽高度に合わせた時間ごとの経過を測定した。実際に光を当てると、開店前 (9:00) は什器下段に日射が当たり、開店時間 (10:00) になると什器に当たらないことが確認できた。

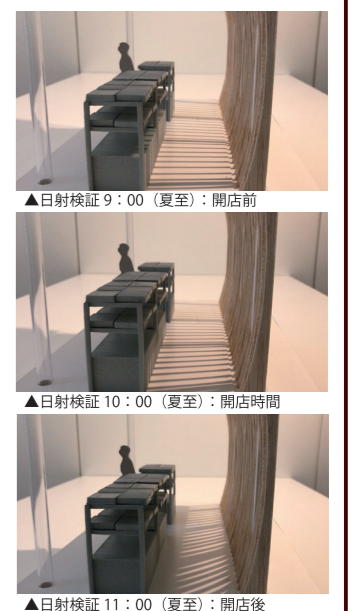
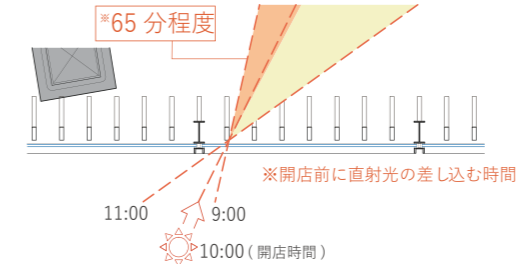
さらに、店内の様子は外からの見え方によって異なった表情をつくりだす。“ひなた”によって照らされ、奥行きを感じさせる視覚効果を生み出した。

このように、独創的な R 形状の杉ルーバーによって視線と日射をコントロールし、直射光による商品劣化を防ぎつつ、内外で心地よく視線が繋がる、周辺環境に馴染む建築を目指した。

外部からの視線性の検証



時間ごとの日射の検証



受賞概要・講評

本作品は渋谷区に所在する宮崎県のアンテナショップが、オープン 20 周年の節目にリニューアルを行ったもの。宮崎県のコンセプト“日本のひなた”をテーマに、県産材の「飴肥（おび）杉」を内装のルーバーや什器等へ活用し温かみのある店舗を作り上げた。

【女性活躍賞】

藪氏は本作品の設計担当者として、施主及び施設運営者とのワークショップを通じ、既存店舗が抱える課題の解決へ向け尽力した。また施設の女性スタッフと意見交換を重ね、商品の陳列方法の改良等を行い、リニューアル前と比較し約 1.4 倍の売り上げにも貢献した。

【奨励賞】

本作品については「シンプルだが柔らかさを感じさせるルーバーの曲線的なデザイン」「実証実験を経て、ルーバーで日射と視線のコントロールを実現した点」等が評価された。